

学校だより

あ お ぎ り

平成 2 1 年度

23



平成 2 2 年 2 月 5 日
須坂市立森上小学校

恵方巻作り

地元須坂産食材を使った恵方巻き作りを、須坂恵方巻き教室実行委員会(代表：松栄寿司の牧さん)、郷土食ブランド作り



グループ、須坂市農林課の協力をいただいて、1月29日(金)に行いました。朝の活動で、恵方巻きについてと地元の食材生産について学ぶビデオを視聴してから学年毎に家庭科室へ行って恵方巻作りを体験しました。(1・2年生は専門の職人さんに作っ

ていただきました。)そして、2時間目の休み時間に全校児童が体育館に集まり、今年の恵方である西南西の方向に向かって願い事を思い浮かべながらお寿司を丸かじりしました。

実行委員会の方には、人の手配、食材の準備、会場設営等でご苦労いただき、当日はたいへんスムーズに進行しました。おかげ様で早い時間に食べることができ、給食への影響が少なくてたすかりました。多くの報道関係者も取材に来校し、インタビューを受けた子もいました。テレビでも報道されましたのでご覧になった方もいるかと思えます。

恵方巻きは大阪で始まったといわれています。長野県では馴染みはなかったと思いますが、最近では節分前にコンビニでも売られるようになってきました。地元で行われている節分行事を大切にすることが一番ですが、関西ではこんな行事も行われているということも学ぶこともよいと思えます。そして、何よりも今回の恵方巻作りで須坂市特産の農産物について学ぶ機会をいただいたこと、巻き寿司作りの体験をすることができたことが子どもたち

にとってありがたいことでした。



青桐児童会の引き継ぎ

次期青桐児童会会長の立候補者による立会演説会・選挙が3年生以上の参加で2月1日(月)に行われました。

5年生から4人が立候補し、それぞれ推薦責任者と共に演説をおこないました。推薦責任者の話からは、どの候補者も日頃から気持ちの良いあいさつができたり、明るく元気でだれとも笑顔で接している様子がかえりました。また、候補者本人からは、全校の皆が笑顔になれるような、そしてけんかやいじめのない仲の良い学校を目指して頑張りたいという決意が述べられました。

引き続いて投票が行われました。だれが児童会長になっても大丈夫と思っていましたが、選挙の結果、次期児童会役員は次のように決まりました。

会 長：田村 凌太郎さん
副会長：江澤 実さん
書 記：小林 彩華さん、石田 真菜さん



投票の様子

<森上小学校で見られる花> その37 ユリノキ (モクレン科ユリノキ属)

百合の樹、初夏にチューリップのような形をした花が咲きます。5~6センチメートルほどの花ですが、高木でしかも大きな葉をたくさん着けているので、意図的に覗かないと見つからないです。写真は



冬のユリノキ

すべての葉を落としたユリノキで、花と同じようにチューリップに似た果実が目立ちます。

(右下の花の写真ですが、あいにく本校の樹では撮影してありませんでしたので、ネット上から借用しました。)



北アメリカ原産。成長が速い落葉高木です。日本へは明治時代に渡来し、街路樹や公園樹として利用されているようです。

(文責：校長 宮澤輝行)

